

わが家の防災メモ

わが家の避難先（親戚宅・避難場所など）		家族が離れ離れになった時の集合場所	
家族の名前	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

●いざという時の連絡先

火事・救急 **119**番 警察 **110**番

災害に関する連絡先		電話番号
太子町役場		0721-98-0300
大阪府富田林土木事務所		0721-25-1131
富田林保健所		0721-23-2681
富田林警察署（太子町交番）		0721-25-1234
富田林市消防本部		0721-25-0119
富田林市消防本部太子分署		0721-98-3299
水道	大阪広域水道企業団太子水道センター	0721-98-5536
電気	関西電力送配電機	0800-777-3081
ガス	使用しているガス会社または販売店	
NTT（電話の故障）		113

災害用伝言ダイヤル

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください

伝言の録音方法

171
↓ガイダンスが流れます

録音の場合 **1**
↓ガイダンスが流れます

(XXXX)XX-XXXX
↓
録音

伝言の再生方法

171
↓ガイダンスが流れます

再生の場合 **2**
↓ガイダンスが流れます

(XXXX)XX-XXXX
↓
再生

被災地の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください

忘れてイナイ(171)? 災害伝言171 など覚えてください

災害用伝言板サービス

安否状況の登録
伝言・安否状況等を入力します。

安否状況の確認
安否状況を確認したい相手の携帯番号を入力して検索します。

地震や洪水などの災害発生時は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。毎月1日および防災週間・防災とボランティア週間において、お試し利用ができます。

携帯電話を使って被災者は安否状況の伝言を登録し、外部の人がその伝言を確認できます。まずは「災害用伝言板」がどこに表示されるかを確認し、選択。伝言を登録する場合は、メニュー画面から「登録」を選択し、メッセージを入力するだけです。伝言を検索したい場合は、メニュー画面から「確認」を選択し、相手の携帯電話番号を入力します。

防災 ハザードマップ

保存版



自宅等の危険度情報や避難情報等を確認し、
早めの避難行動を心掛けましょう！

●土砂災害や洪水、大雨等の危険度情報を地図で把握しましょう

キキクル(気象庁)

https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level&area_type=class20s&area_code=2738100



●大阪府の防災情報を確認しましょう

おおさか防災ネット(大阪府)

<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>



●石川・梅川・飛鳥川の水位情報や河川の様子(カメラ)を確認しましょう

川の防災情報(国土交通省)

<https://www.river.go.jp/index>



●太子町の防災情報を確認しましょう

太子町防災・減災ウェブ

https://www.town.taishi.osaka.jp/kurashi/bosai_gensaiweb/index.html



リアルタイム町の情報

https://www.town.taishi.osaka.jp/kurashi/bosai_gensaiweb/realtimeinfo/kinkyu_jyoho.html



災害に関する情報

警戒レベルと避難情報の種類

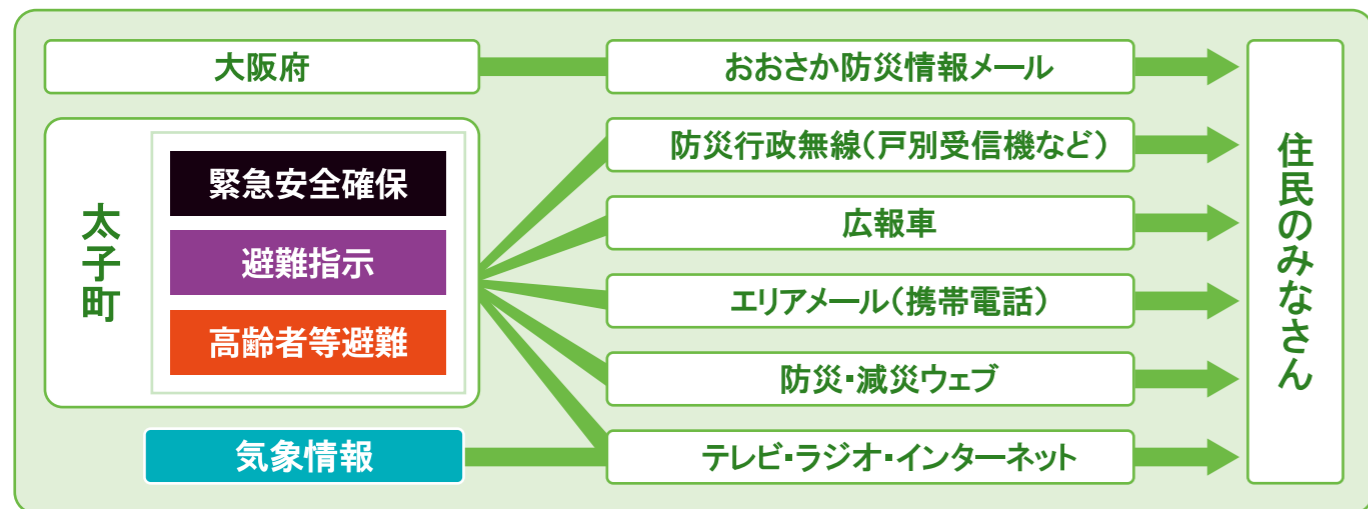
災害が発生する危険度に応じて、太子町や気象庁から5段階の警戒レベルと避難情報をお知らせします。情報を確認し、適切な行動をとってください。また、警戒レベルや避難情報の発表がされる前でも、危険を感じたら自ら避難してください。

警戒レベル	避難情報など	避難行動(とるべき行動)
警戒レベル5*	緊急安全確保 (太子町が発令)	すでに 災害が発生 している状況です。 命の危険、ただちに安全を確保 しましょう。
〈警戒レベル4までに必ず避難!〉		
警戒レベル4	避難指示 (太子町が発令)	速やかに危険な場所から避難先へ全員避難 しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3	高齢者等避難 (太子町が発令)	避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある人、乳幼児など)とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2	大雨注意報 洪水注意報等 (気象庁が発表)	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの 避難行動を確認 しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報 (気象庁が発表)	最新の防災気象情報を確認し、災害への心構えを高めましょう。

*警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。すでに危険な状況なので発令を待ってはいけません。

情報伝達の経路

大雨などの災害のおそれがある場合は、防災行政無線やテレビ、ラジオ、インターネットから正しい情報入手して素早く行動しましょう。太子町や大阪府、気象庁などから住民に対する情報が発信されます。インターネットからの情報入手方法は表紙やP2も確認ください。



避難行動を考えましょう

避難とは、小学校等の避難場所へ行くことではありません。避難とは「難」を「避」けることです。普段から災害時にどのような避難行動をするか決めておきましょう。

4つの避難行動

- ### 太子町が指定した避難場所への、立退き避難

 - 太子町が指定した緊急避難場所等への立退き避難。
 - ※避難場所等は、P4、13～18を参照
- ### 安全な場所の、親戚や知人宅への、立退き避難

 - 普段から、避難について、相談しておきましょう。
 - 親戚や知人宅が安全かどうかハザードマップで確認しましょう。
- ### 安全な場所の、ホテルや旅館への、立退き避難

 - 宿泊料が必要となります。また事前に宿泊可能な施設を確認しておきましょう。
 - 宿泊先が安全かどうかハザードマップで確認しましょう。
- ### 屋内での、安全確保

 - ハザードマップで以下の内容を確認して、大丈夫であれば自宅等で屋内安全確保ができます。
 - P13～18のマップにおいて、「家屋倒壊等氾濫想定区域」に入っていない。
 - P13～18のマップにおいて、「浸水深」よりも階数が高い場所に居室がある。※**浸水深はあくまでも想定です。想定以上の災害も考えられます。危険を感じたら立退き避難を考えてください。**
 - 浸水した時は、水がひくまでに数日かかる場合もあります。P3に記載の備えを十分に行なっており、我慢することができる。

情報入手しましょう

表紙に記載した情報入手先以外にも、以下の情報入手先があります。

<h3>太子町ホームページ</h3> <p>役場からの情報 https://www.town.taishi.osaka.jp/index.html</p>		<h3>大阪府河川防災情報</h3> <p>府内の河川情報や河川カメラの映像 http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/</p>
<h3>気象庁</h3> <p>警報や注意報などの気象情報 https://www.jma.go.jp/jma/index.html</p>	<h3>大阪府土砂災害の防災情報</h3> <p>府内の土砂災害に関する情報 [PC] http://218.251.72.164/WebSite/ [スマートフォン] http://218.251.72.164/MobileSite/</p>	

災害に備えて

■非常持ち出し品・備蓄品の用意

避難に備えて、非常持ち出し品などを用意しておきましょう。両手が自由に使えるようにリュックサックなどにまとめましょう。



非常持ち出し品

持ち出し品を欲張りすぎると避難が大変です。目安は男性で15キロ、女性で10キロ程度です。

食品関係

乾パン、缶詰など火を通さなくても食べられる物やミネラルウォーターなど。



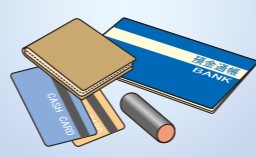
救急・安全関係

絆創膏、傷薬、包帯、常用薬・常備薬、マスク、体温計、消毒液など。



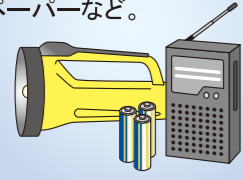
貴重品

現金、権利証書、預貯金通帳、免許証、健康保険証、印鑑、クレジットカード・キャッシュカード類など。



日用品

懐中電灯、ラジオ、電池、ライター、ナイフ、缶切り、ビニール袋、ティッシュペーパーなど。



衣類など

下着、上着、タオル、毛布、手袋など。



その他

歯ブラシ、石けん、ほ乳びん、紙おむつ、メガネなど。

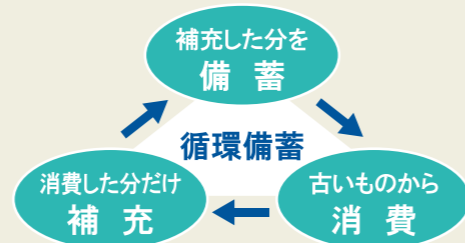


☑ 非常持ち出し品チェックリスト

- 食品関係
 - 飲料水
 - 非常食
- 救急・安全関係
 - 傷薬・常用薬・常備薬
 - 脱脂綿・ガーゼ
 - 包帯・絆創膏
 - 体温計・消毒液
- 貴重品
 - 現金
 - 預貯金通帳・印鑑
 - 保険証・免許証・証書類
 - カード類
- 日用品
 - 懐中電灯
 - 携帯ラジオ
- 電池
- ローソク
- マッチ・ライター
- ナイフ・缶切り
- ビニール袋
- ティッシュペーパー
- 衣類など
 - 衣類
- 下着類
- 毛布
- 軍手(手袋)
- マスク
- ヘルメット(防災頭巾)
- カッパ
- その他
 - 歯ブラシ
- 石けん
- 紙おむつ
- 粉ミルク・ほ乳びん
- つえ・ロープ
- メガネ

ローリングストック(循環備蓄)

災害復旧までの数日間(最低3日分)自ら生活できるように、食料や水(1人1日3リットルを目安)、燃料(卓上コンロ、固形燃料、予備ボンベ)、お年寄り・乳幼児用食品(粉ミルク、離乳食、流動食、おかゆ)などの非常備蓄品を準備しておきましょう。非常備蓄品は、保存期限が切れる前に消費し、その分を補充する「ローリングストック」をしましょう。



緊急避難場所・避難所リスト

あらかじめ、災害の種類に応じた避難場所(避難行動)を確認しておいてください。

■緊急避難場所(施設・場所)と避難所(滞在施設) *緊急避難場所(施設)及び避難所の開設については、役場へ問い合わせてください。

施設名	緊急避難場所			避難所	所在地	電話番号	備考
	土砂災害	洪水	大規模火災				
万葉ホール	○	○	○	指定	山田104-1	98-0300	台風接近時:開設避難所
磯長小学校(体育館・グラウンド)	—	—	○	指定	春日1569	98-0040	地震発生時:拠点避難所
山田小学校(体育館・グラウンド)	—	—	○	指定	山田372	98-0049	地震発生時:拠点避難所
町立中学校(体育館・グラウンド)	—	—	○	指定	春日1479	98-0043	
町立幼稚園	—	—	—	指定	春日1562	98-0321	
太子集会所	—	—	—	指定	太子1733-1	—	
春日集会所	—	○	—	指定	春日1423-5	—	
山田集会所	○	—	—	指定	山田301-1	—	
葉室集会所	—	○	—	指定	葉室1083	—	
畑集会所	○	—	—	指定	畑315-1	—	
聖和台集会所	—	—	—	指定	聖和台2-10-5	—	
伽山集会所	○	○	—	協力	太子724-1	—	
上宮太子高等学校	—	—	○	指定	太子1050	98-0361	大規模火災時:広域避難場所
太子・和みの広場	—	—	○		太子2059	—	
青少年グラウンド	—	—	○		春日1564	—	大規模火災時:広域避難場所
葉室公園	—	—	○		葉室1123-1	—	
畑薬師山公園	—	—	○		畑	—	
聖和台第1公園	—	—	○		聖和台4-10	—	

緊急避難場所……切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所(施設・場所)

避難所……災害により住宅を失った場合等において、一定期間生活をする施設(滞在施設)

☑ ……緊急避難場所(施設・場所) 土砂災害……がけ崩れ及び土石流に対応(地すべりは別途指定)

☑ ……避難所(滞在施設) 洪水……洪水に対応

☑ ……避難所兼緊急避難場所 大規模火災……地震及び大規模な火事に対応

※災害の規模に応じて指定以外の施設を緊急避難場所として開設する場合があります。

■避難協力施設(災害時に一時的に避難できる民間施設)

施設名	所在地	電話番号	備考
協 太子カントリー倶楽部	葉室800	98-5800	
協 太子温泉	山田1131	98-4126	
協 ふくの音	山田3361	80-3361	

■福祉避難所(要配慮者のうち、特に支援を要する方の受入れを行う避難所)

施設名	所在地	電話番号	備考
福 総合福祉センター	春日963-1	98-1311	

土砂災害に備えて



土砂災害の多くは雨が原因で起こります。気象庁(キキクル)などで、土砂災害危険度が警戒(赤色)になったら十分な注意が必要です。

土砂災害と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ土石流やがけ崩れ、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、太子町又は大阪府富田林土木事務所へご連絡ください。

がけ崩れ

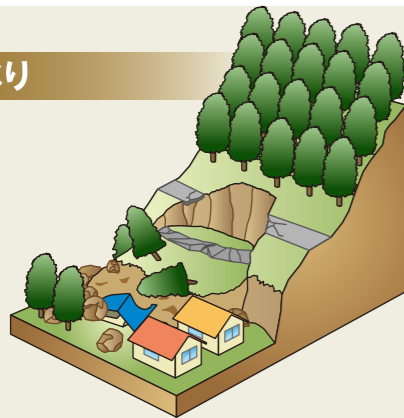


地面にしみ込んだ雨水などが土の抵抗力を弱め、弱くなった急ながけ地や斜面が突然崩れ落ちることで、地震によって起こる事もあります。短時間のうちに崩れたり、落石があるので、逃げ遅れた場合、死者が出る割合が高くなります。

こんな時は危険です!

- 湧水量の増加
- 表面流発生
- 小石がばらばら落下
- 新たな湧水発生
- 湧水の濁り
- 湧水の停止
- 湧水の噴き出し
- 亀裂の発生
- 斜面のはらみだし
- 地鳴り

地すべり

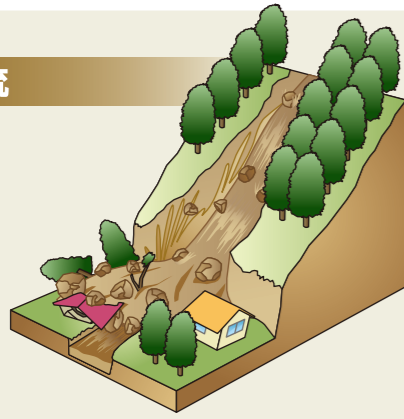


地中の粘土層などすべりやすい面にしみ込んだ雨水などの影響で、山腹がゆっくりと動き出す現象です。比較的緩やかな斜面でも起こります。一度に広い範囲が動いたため、住宅や道路、耕地などに大きな被害をもたらします。

こんな時は危険です!

- 井戸水の濁り
- 湧水の枯渇
- 湧水量の増加
- 池や沼の水かさの急変
- 亀裂・段差の発生・拡大
- 落石・小崩落
- 斜面のはらみだし
- 構造物のはらみだし・クラック
- 根の切れる音
- 樹木の傾き
- 地鳴り・山鳴り
- 地面の震動

土石流



谷や斜面に溜まった土砂が、大雨による水と一緒に、一気に流れ出してくるものです。破壊力が大きく、速度も大きいので、大きな被害をもたらします。「山津波」とも呼ばれます。

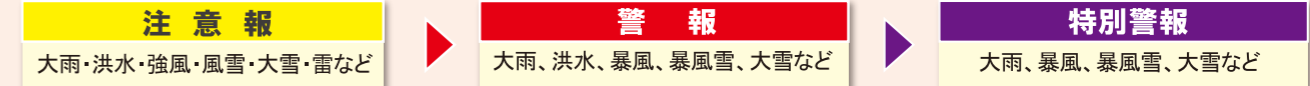
こんな時は危険です!

- 流水の異常な濁り
- 渓流内で転石の音
- 流木発生
- 土臭いにおい
- 地鳴り
- 流水の急激な濁り
- 渓流水位の激減

大雨に備えて

気象警報・注意報

気象庁からは、大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるときは「注意報」が、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」が、さらに、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」が発表されます。



大雨・強風時には、テレビ、ラジオなどにより最新の注意報、警報の発表状況を確認するようにしましょう。また、NTTテレホンサービス「177」や太子町防災・減災ウェブ「リアルタイム町の情報(府内の注意報・警報)」、気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)でも確認できます。
※太子町に注意報・警報が発表される際の雨量基準値などについては、気象庁ホームページや大阪管区気象台天気相談所(06-6949-6304・平日日中のみ)で知ることができます。

土砂災害警戒情報

- 大雨警報が発表された後に大雨により土砂災害の危険度が高まった市町村を特定し、大阪府と大阪管区気象台が共同して発表する情報です。
- 太子町が避難指示等を発令する基準となるもので、住民の方も自主避難の判断の目安としてください。
- テレビ、ラジオ、太子町防災・減災ウェブ「リアルタイム町の情報(大阪府土砂災害の防災情報)」から確認できます。



風水害への備え

- 外壁**
 - モルタルの壁に亀裂はありませんか
- 屋根・雨どい**
 - 不安定なアンテナはありませんか
 - トタンがめくれていませんか
 - 瓦のひび・割れ・はがれはありませんか
 - 雨どいにゴミや木の葉は溜まっていませんか
- ベランダ**
 - 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか
- ブロック塀**
 - 傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか
- 排水溝**
 - 側溝や雨水ますにゴミや土砂はありませんか
- 窓**
 - 窓枠のがたつきはありませんか
 - 雨戸にがたつきはありませんか
- 板塀**
 - 板塀に腐りや浮きはありますか
 - 板塀に支柱はありますか
- その他**
 - ガスボンベは固定していますか
 - 商店などでは看板のぐらつきはありませんか
 - ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
 - 庭木には添え木をしていますか
 - 窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか

水害に備えて



浸水のおそれがあるときは、早めに避難をしましょう。
浸水が始まってからの避難は困難になります。

雨の強さと降り方

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10~20mm未満	20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川なら氾濫、また、がけ崩れの心配もあります。	激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備をしてください。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨です。	息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要です。

※気象庁資料参照

避難の心得

- 1 状況により、すばやく避難しましょう!**
太子町から避難情報が発表される前でも、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。
- 2 自分の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!**
特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。
- 3 車での避難は控えて!**
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。
- 4 持ち出し品は最小限に!**
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
- 5 外出中の家族には、連絡メモを残そう!**
「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくとい良いでしょう。
- 6 集団で助け合おう!**
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
- 7 安全なルートで!**
浸水想定区域、土砂災害警戒区域、川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
- 8 避難場所では係の人の指示に従いましょう!**
避難場所に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

浸水時の歩行は困難	足元に注意	子どもから目を離さない
水の流れが無い場合でも、ひざ下までの水の深さが歩行の限度です。深さが腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理をせず、高い所で救助を待ちましょう。浸水する前の避難が重要です。	水中のマンホールや溝に注意し、長い棒を杖代わりにして確認しましょう。道路はできるだけ真ん中を歩きましょう。	はぐれないように、お互いの体をロープでつないで避難しましょう。

避難時危険箇所

大雨・洪水時は、橋梁やアンダーパス(地下道)をさけて避難しましょう。

橋梁

洪水時は水かさが増し、上流から流木などが流れてきたりするので、橋は大変危険です。

アンダーパス(地下道)

アンダーパスとは、道路や鉄道などが立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。
※車が浸水した時、普通自動車の場合、30cmの浸水で走行困難になります。

大雨時の地下室は危険です!!

- 地下室では外の様子がわかりません。
- 水圧でドアが開かなくなります。
- 地上が冠水すると、一気に水が流れ込んできます。
- 浸水すると電気が消え、エレベーターは止まります。
- 地下駐車場は水につかるおそれがあります。

石川・梅川の河川水位情報

石川及び梅川の河川水位情報は、太子町防災・減災ウェブの「リアルタイム町の情報(大阪府洪水予報情報)」、川の防災情報から確認してください。

【水位の基準】

水位イメージ	警戒レベル	水位	石川(洪水予報河川)				梅川
			水位の観測場所と基準値				
	5	氾濫の発生	金剛大橋(富田林市)	河南橋(富田林市)	玉手橋(藤井寺市)	梅川橋(太子町)	
	4	氾濫危険水位	2.4m	2.1m	4.8m	2.4m	
	3	避難判断水位	2.2m	1.8m	4.6m	2.2m	
	2	氾濫注意水位	2.0m	1.6m	3.9m	2.0m	
	1	-	-	-	-	-	
		通常の水位					

※石川では、氾濫注意情報・氾濫警戒情報・氾濫危険情報・氾濫発生情報が発表されます。

洪水浸水想定区域図の見方

ハザードマップに表示している洪水浸水想定区域図は、令和3年1月29日に大阪府が作成した大和川水系石川、飛鳥川、梅川、太井川等の洪水浸水想定区域図によるものであり、水防法の規定により想定最大規模による浸水深を示しています。

想定降雨量は、以下のとおりです。

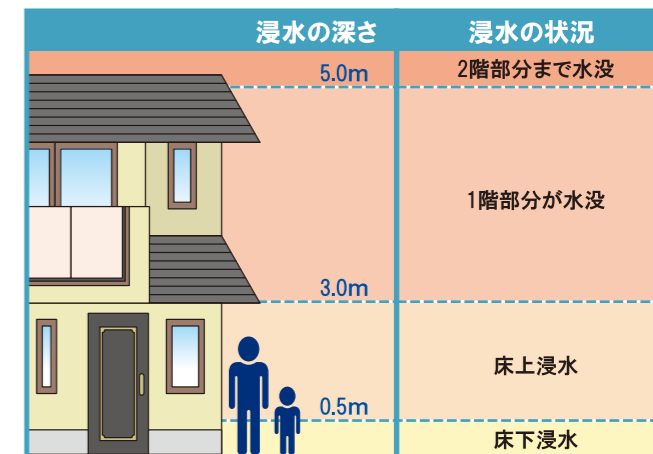
石川流域

24時間総雨量 724.0mm
1時間最大雨量 195.5mm

支川流域

24時間総雨量 1008.0~1150.0mm
1時間最大雨量 111.0~146.0mm

※今回の洪水リスクの表示は想定される一つのケースであり、これ以外の洪水リスクが生じる場合もあります。



外水氾濫と内水氾濫

洪水には、川の堤防が壊れたり、堤防から水が溢れたりして発生する氾濫(外水氾濫)と川に排水されるべき水が川に流れずに溢れてしまう氾濫(内水氾濫)があります。



地震に備えて

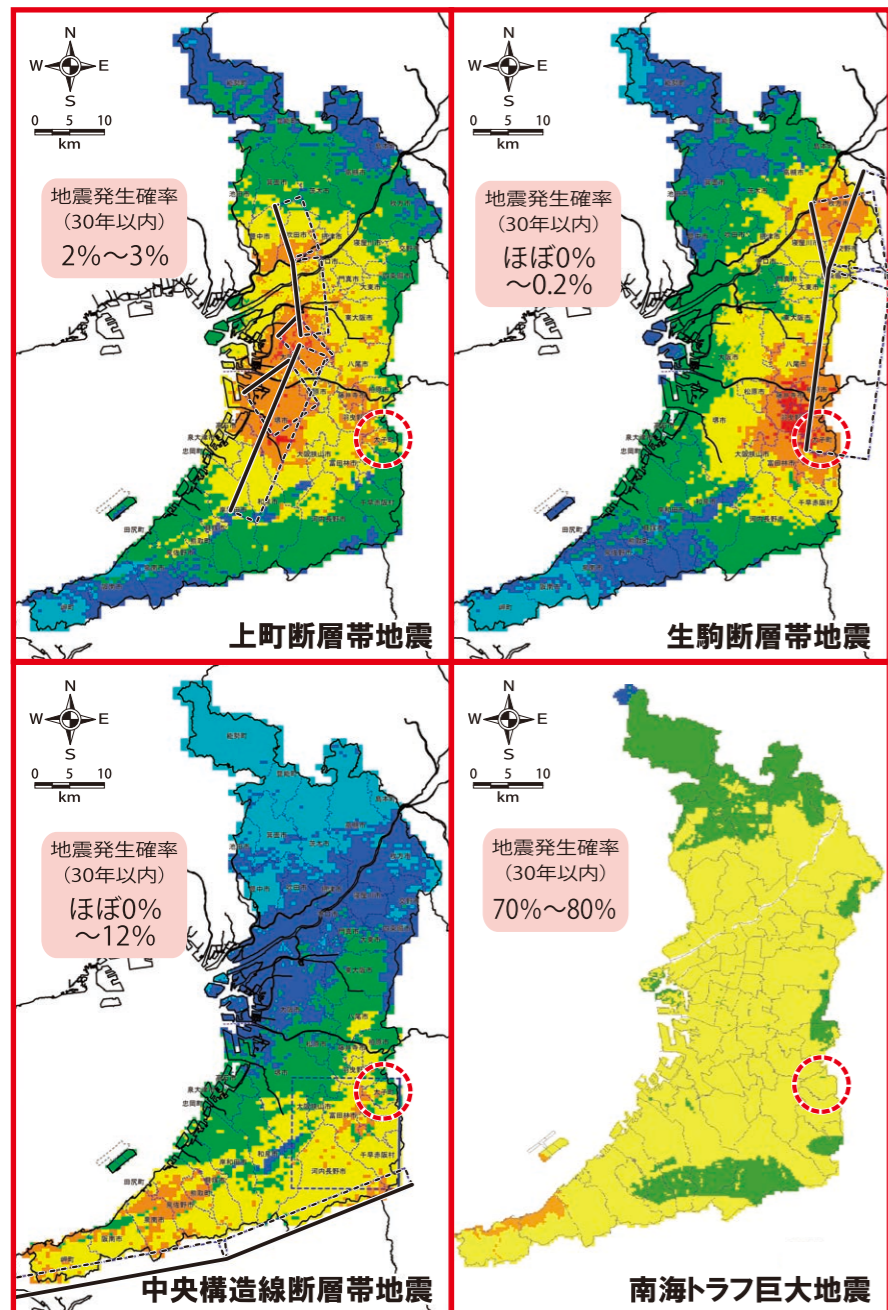


普段から地震の発生に備えましょう。
発生した場合は、あわてず、落ち着いて行動することが大切です。

地震について

大阪府では、大きな影響を及ぼすと考えられる「活断層による直下型地震」、「南海トラフにおける海溝型地震」について被害想定調査を実施しています。太子町でも、最大で震度7程度の揺れが生じることが考えられます。普段からの備えにより、地震による被害を最小限にすることができます。

■地震動予測図 (大阪府地震被害想定結果より太子町に影響の大きい地震を予測したケースを掲載しています。)



計測震度(地表面)	
震度4 = ■	震度6弱 = ■
震度5弱 = ■	震度6強 = ■
震度5強 = ■	震度7 = ■

■地震発生時の正しい行動

- まず、我が身の安全を！
大きな揺れは、1分程度でおさまります。あわてず丈夫な机などの下に身を隠し、様子を見ましょう。
- すばやく火の始末！
台所など、目の前で火を使っていたら、揺れが収まってから消すようにしましょう。
- 火が出たらまず消火！
万一火災になった場合は、周りの人に大きな声で助けを求めるとともに、手近にある消火器などで初期消火をしましょう。

■脱出時の正しい行動

- あわてて外にとび出さな！
瓦や窓ガラス、看板などが落ちて思わぬケガをすることがあります。あわてて外へ飛び出すことなく落ち着いて行動しましょう。
- 非常脱出口の確保！
揺れを感じたら、玄関などの扉を開けて逃げ口を確保しましょう。特にマンションなどの中高層住宅では出口の確保が重要です。
- 山崩れ、がけ崩れに注意！
山際や急傾斜地域では、山崩れやがけ崩れが起こりやすいので注意が必要です。

緊急地震速報 (揺れる前に知る)

●緊急地震速報とは？

※緊急地震速報(震度6弱以上)は特別警報に位置付けられています。

P波：カタカタ揺れる波

S波：ユサユサ揺れる波

気象庁から地震の発生直後に震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒~数十秒前に素早くお知らせする新しい情報です。
ただし、震源に近い場所では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

●緊急地震速報の受け方

震度5弱以上が推定される場合に、テレビ・ラジオを通じて速報が受けられる予定です。また、揺れの大きいエリアにいる携帯電話ユーザーに一斉同報配信するサービスも提供されています。各事業者のサービスを確認してください。

●緊急地震速報を受けたら

緊急地震速報を受けたら、周囲の状況に応じてあわてずに、まず身の安全を確保しましょう。

- 頭を守る ●家具から離れる ●塀から離れる ●落ちてくる物に注意 ●あわてて外に飛び出さない ●エレベーターでは近くの階で降りる ●運転中は、急ブレーキをかけない



私たちは地震の多い国に暮らしています。
被害が最小限に済むよう、日頃から備えておきましょう。

■家の内外チェック

地震への備え

- ベッドや寝る場所で倒れかかる位置に、家具や本棚はありませんか
- 照明器具はしっかりと取り付けられていますか
- 高いところに花瓶など、割れると危ないものはありますか
- 食器棚や家具を固定していますか
- ひび割れ、壊れているところはありますか
- 高すぎませんか
- 傾いていませんか
- グラついていませんか
- 控壁はありますか
- 消火用水として！ トイレなどの生活用水として！ お風呂の水は流さないでためていますか？
- テレビや水槽は低いところに置いていますか
- ストーブをふすま・障子・カーテンの近くで使用していませんか
- ガスボンベを固定していますか
- ガスボンベの周りに物が置いていませんか



自主防災活動を推進し、地域の防災力を高めるとともに、避難行動要支援者への手助けをしましょう。

自主防災組織について

地域防災リーダーとなる「防災委員」を組織内に設置し、地域防災力をパワーアップしよう!!

■地域の防災力を高めよう

災害発生時には、太子町や関係機関は全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、**地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切**になります。

自主防災組織活動を推進し、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。

自主防災組織の役割と活動

避難生活時の協力体制をつくる

- 心の支え合い
- 健康保持の協力
- 給食・給水活動への協力
- 環境や衛生の保持への協力
- 情報収集・伝達の協力

避難場所・経路などを地域で話し合う

- いっつき集合場所を含む避難場所の確認
- 避難経路の確認
- 危険箇所の把握

※いっつき集合場所とは、地震発生時、「緊急避難場所(拠点避難所等)」へ避難する前に、家族や近所の方が一時的に避難し、安否確認等に利用する場所で、自主防災組織などで任意に設定していただく場所です。

助力と支援を地域で行う

- 地域の避難行動要支援者への日頃の支援
- 災害発生時の助力活動
- 避難誘導

避難行動要支援者について

避難行動要支援者とは、災害時要配慮者(高齢者、障がいのある方及び乳幼児など)のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な方で、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援が必要な方が該当します。自主防災組織を中心とした地域ごとの支援体制を充実し、近所の高齢者、障がいのある方などの安否確認、避難場所への移動を支援しましょう。



■高齢者・病人

- おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



■目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持って、半歩手前をゆっくり歩く。



■肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段では2人以上が必要。上がりは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



■耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

このマップは、災害時に避難を行う施設や洪水や土砂災害の危険のおそれがある箇所を示したものです。自宅等の周りの危険な場所や避難できる場所等を知っておき、いざという時にどのように避難行動をしたらよいか、家族や近所の人等で話しあっておいてください。

災害による被害を最小限にするためには、一人ひとりの行動と地域の協力が大切です。

このマップには、大阪府が調査して、がけ崩れや土石流の危ない場所を指定した土砂災害(特別)警戒区域等や、大阪府が令和3年1月29日に作成した、河川が氾濫したときに浸水する場所を想定した洪水浸水想定区域を示しています。今後の調査によって、場所が追加されたりすることがあります。

避難場所などの情報に変更があった場合は、町のホームページなどでお知らせします。

わが家の避難マップ

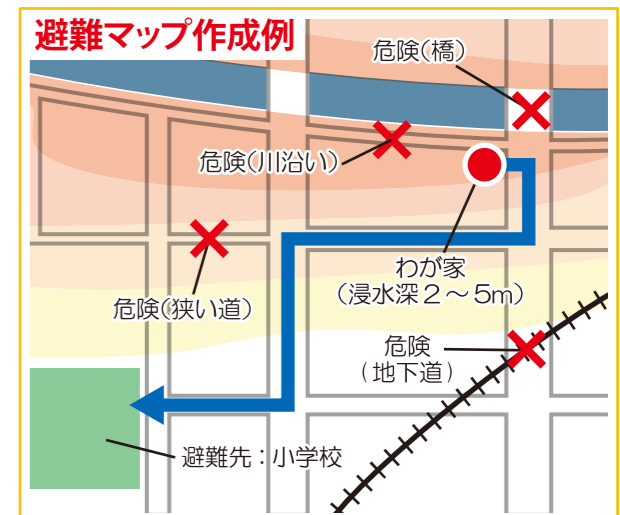
災害に備えて、日頃から自宅等の危険性や避難先をハザードマップ等で確認しておきましょう。確認した内容を、以下の欄に記入しておきましょう。

※ハザードマップに、自宅等から避難先までのルートを記載することも有効です。

自宅等の危険性

- 洪水: 浸水想定区域内 区域外
- 土砂災害: 警戒区域内 区域外

避難先



※避難場所のみではなく、親戚や知人宅への避難も考えておきましょう。

ハザードマップ索引図

